

2026年度 秋のブロック別総代会議

2026年11月10日(水)～25日(水)



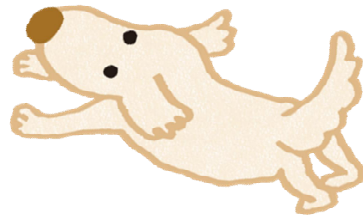
2026年度上期(3/21～9/20)まとめと
下期(9/21～)からの取り組み



コープぐんま



2026年度上期のまとめ と 下期からの取り組み



2026年度上期 事業全体の概況

●上期実績

総事業高は予算・前年を下回りました。経常剰余金は予算を達成しました。



	実績	予算比(差)・計画比(差)	前年比(差)
総事業高	165億3,468万円	98.9% (－1億8,628万円)	95.2% (－8億3,663万円)
経常剰余金	4,362万円	245.1% (+2,582万円)	17.7% (－2億8,548万円)
組合員数	361,901人	99.2% (－2,567人)	100.3% (+1,094人)
出資金高	63億7,614万円	99.6% (－2,386万円)	99.7% (－1,391万円)

※前年比(差)は月次決算時点の数値です

●下期計画

下期予算の達成を目指します。

	下期予算	年間予算
総事業高	171億6,923万円	338億9,020万円
経常剰余金	1億8,419万円	2億199万円
組合員数	+4,099人	36万6,000人
出資金高	+2,386万円	64億円



■ コープデリグループ重点課題

「人」の成長を「事業」の成長へとつなげる取り組み

- 日本生協連・コープ共済連との共通した「100 か月コープ」の取り組みを進めています。具体的には、宅配や店舗で「100か月コープ」の広報に取り組みました。



- 「健康経営」は、健康経営推進委員会を中心に取り組みをすすめています。上期は、健康診断の受診率の向上、健康推進企画、健幸ニュースの発行等を取り組みました。熱中症対策として、宅配センターへ「アピュアステーション」を導入しました。

■ コープデリグループ重点課題

地域・社会のインフラとしてコープデリの役割発揮

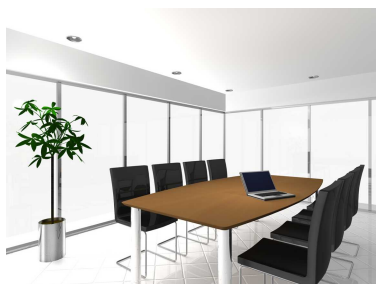
- 地域環境、社会や人々に配慮した商品の普及を継続して取り組んでいます。
有機JAS、フェアトレード、レインフォレスト・アライアンス、MSC、ASC、MEL、FSC、RSPO、エコマークなどの認証・認定商品をはじめ、寄付金付商品の取り組みや日本の農畜産物を応援し食料自給率を高める飼料用米の活用もすすめています。
- 「4つのプロジェクト」の商品普及や産地交流の取り組みを大切にしながら、他の取り組みも含めてより広義な「持続可能な社会の実現」を目指す取り組みとして検討しています。
- 温室効果ガスの削減目標とロードマップの見直しをすすめています。
CO2の削減は、計画1,208.6tに対して実績1,145.2tで計画を達成しています。
EV車両の導入は、藤岡センターの効果検証をして検討を進めます。
- 地震のより大きな被害が発生した「ベネゼエラ」・「熊本」について、緊急支援募金を取り組みました。人的支援の検討もすすめています。



■ コープデリグループ重点課題

コープデリグループ全体での将来に向けた検討

- コープデリグループ全体で、ブランド力向上を目指して、リブランディングの検討をすすめました。役職員と組合員理事による協議をすすめました。



- 上半期にコープデリグループ第2期中期計画（2027年～2029年計画）の協議を開始しました。下半期に第2期中期計画を確定し、次年度以降の計画に反映します。

- 財務強化は、事業環境が厳しい状況にあるため、剰余の確保、経費コントロールを下期の継続課題とすることとしました。組合員の年齢構成から増資の取り組みが重要であり、下期の推進方法の検討をすすめました。

■ コープデリグループ重点課題

コープデリ宅配事業の新システムについて

- コープデリ宅配事業の新システムのリリースは、安全を最優先にして2026年度下期にリリースすることになりました。
リリースの遅れから、クレジット決済は2027年度の導入を予定しています。

ポイント制度の変更やデータ活用を進めるとともに、
カタログ制作工程の見直しや組合員との接点の見直しを進めます。



詳細は別途報告
いたします

■ 宅配事業の取り組み

供給高、経常剰余金

供給高（商品）は、113億9,316万円と予算、前年ともに下回りました。
ウイークリー全事業所で予算、前年を下回りました。

経常剰余金は2億344万円と予算達成。

ウイークリーでは桐生、太田、北部、沼田センターが予算を上回り
全事業所が前年を下回りました。



	実績	予算比（差）	前年比（差）
供給高（商品）	113億9,316万円	97.8% （－2億6,197万円）	97.4% （－3億297万円）
経常剰余金	2億344万円	109.5% （＋1,763万円）	42.8% （－2億7,146万円）

- 下期供給高（商品）の予算は、121億3,860万円です。経常剰余金の予算は3億4,571万円です。発行人数の改善を図り、予算達成に向けて取り組みます。

■宅配事業の取り組み

新たにコープデリ宅配登録を おすすめる活動（組合員拡大）

組合員拡大は未達成。全業種で計画、前年を下回りました。
営業チームの実績は、イベントが主となりますが、1会場あたりの実績が計画に届かず課題を残しました。



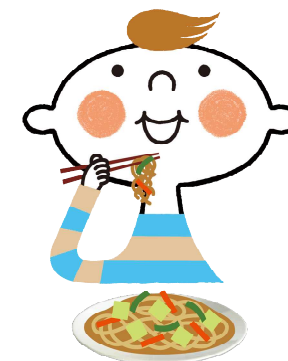
	実績	計画比（差）	前年比（差）
新規登録人数	4,827人	77.6%（－1,394人）	95.5%（－1,167人）
	地域担当	営業担当	委託
職種別	60.4%	85.1%	75.8%

- 下期拡大対策方針に沿って取り組み、拡大予算を達成します。
宅配事業部もイベント設定など積極的に関わります。

■ 宅配事業の取り組み

商品のおすすめの取り組み

ぐんまじまんでブロック委員の皆さんによる
おすすめ商品をご案内しました。



企画回	8月2回(4商品)	8月3回 (2商品)
利用点数 (前回差)	6,428点 (+ 3,458点)	3,165点 (+ 1,466点)

- 下期での宅配委員の皆さんによるおすすめ商品ご案内は
2月1回を予定しています。

今朝採りとうもろこしを5センターで販売しました。
今年は藤岡センターで取り組みがスタートしました。



6月3回	7月1回	7月3回	7月4回	実績	計画比	前年比
前橋センター	高崎センター 藤岡センター	北部センター	沼田センター	431 万円	101.0%	127.4%

■ 宅配事業の取り組み

4月1回ぐんま70周年大感謝祭

2026年 4月1回 C週
配達曜日 月 火 水 木 金 土 日
注文日 3/23 24 25 26 27 28 29
配達日 3/30 31 4/1 2 3 4 5
口庫引落日 5/7 (木)

コープぐんま 70th ANNIVERSARY
山本一太群馬県知事より
お祝いのメッセージを
いただきました

生活協同組合コープぐんまが設立
70周年という大きな節目を迎えられ
ましたこと、心よりお祝い申し上げます。
群馬県内でつくられた商品を
ぜひ、お召し上がりください。

高崎発祥の「シャンゴ」の味をおうちで!
老舗イタリアン

コープぐんま70周年記念
ミールキットが誕生

2人前
調理
約5分

8005 冷蔵 賞味期限 2026年4月2日
コープぐんま70周年記念
ミールキット
920円 (税込993円)
群馬の老舗、シャンゴ監修。右メニューのこだわりのミートソースにカツをのせて「シャンゴ風」
名ご家庭でお楽しみください。1パック100gは、食塩相当量6.2g。(※肉・乳・小麦)
セット内容：1パック100g、ミートソース1カップ、ローズマリー2枝

4月1回紙面では、
山本一太群馬県知事より
祝辞を頂戴しました。

コープぐんま70周年記念商品の
シャンゴ監修・シャンゴ風生パスタは
多くの方にご購入いただきました。

計画	実績	計画比
961点	3490点	363.2%

- 9月5回コープぐんま大感謝祭では、サッカーJリーグザスパ群馬
細貝社長おすすめの「ふっくら卵のオムライス」、神垣選手おすすめの
「シャンゴ風生パスタ（ミートソース）」をおすすめ商品として取り組みます。

■ 宅配事業の取り組み

EC 70%実現に向けた取り組み

e フレンズキャンペーンは計画を達成できませんでした。
太田センターのみ利用人数目標を達成しました。
8月2回のEC受注率は36.1%となりました。（3月4回差+0.9%）

利用人数目標	実績	計画比
2,182件	1,876件	86.0%

（7月2回～7月4回キャンペーン結果）



ステーションのEC受注率100%を目指し、専属の担当を配置しました。
前橋センター関根ステーションで登録率100%となり、7月末から
OCR注文書回収業務が無くなりました。

- 下期は10月2回からEC登録のご案内を行います。
連合会統一の e フレンズキャンペーンは2月2回～2月4回で実施します。
コープぐんまの2026年度末の受注率は39.0%が目標です。

■ 宅配事業の取り組み

社会貢献の取り組み

6月12日（金）高崎市の国分寺幼稚園様で、子ども交通安全教室を実施させていただきました。計64名の園児の皆さんに交通安全の大切さをお伝えしました。



- 下期も天候に配慮しながら開催を予定しています。

■店舗事業の取り組み

供給高、経常剰余金

供給高（商品）予算は上回りましたが、経常剰余金は予算を下回りました。

	実績	予算比・差	前年比・差
供給高（商品）	44億4,527万円	101.6%	89.1%
経常剰余金	－1億7,677万円	－1,654万円	－3,109万円
来店人数	165万6,754人	99.6%	89.1%
客単価	2,683円	+10円	+1円

※前年比・差は月次決算時点の数値です

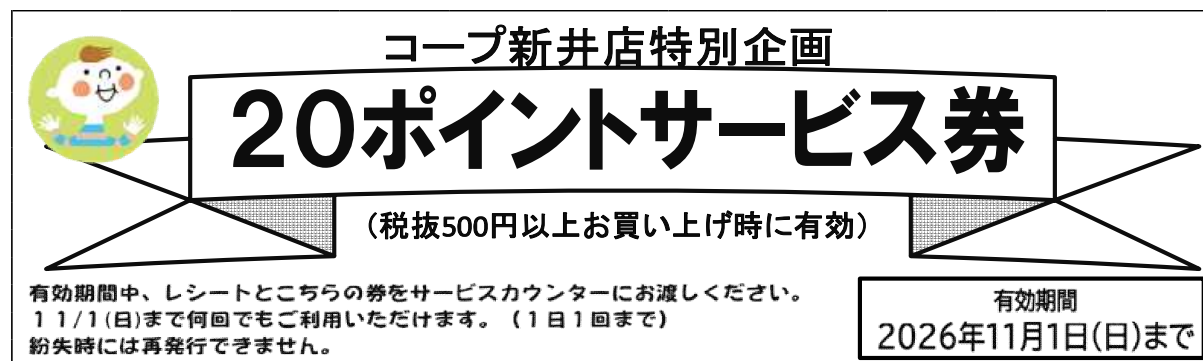
※前年比・差には、前年中野店実績が含まれています。

- 下期予算は、供給高43億5,187万円、経常剰余金－1億5,728万円を計画しています。実行予算を策定するとともに、さらなる損益改善に取り組みます。取り組みとしては、お買い物しやすい売り場づくりと新しいお買い得デーのご案内の徹底により客数対策を強化します。また、GP(GPR)については、原価高騰の影響を踏まえ、高値入商品の買い上げ点数向上とロス削減によりGP高を確保します。

■店舗事業の取り組み

新井店・東久方店での取り組み

- 新井店の客数対策として、営業終了した中野店近隣エリアに新聞折込チラシの投入とさらに「20ポイントプレゼントレシート発行」を実施し、成果に繋がりました。今後も継続して実施する予定です。
また、10月の競合店出店に向け「競合対策タスク」を開始しました。



- 東久方店の損益改善を目指して対策会議を開始しました。上期が赤字見通しであることから、下期黒字化に向けた損益改善をすすめます。



■店舗事業の取り組み

全店統一の取り組み

①プロモーション（下期から）

月	火	水	木	金	土	日
	ポイント 3倍		シニアデー	ポイント 3倍	キッズカード スタンプ2倍デー キッズデー もぐもぐタイム	第1・3 ポイント10倍 第2・4 抽選会

②火曜・金曜ポイント3倍、日曜日はポイント10倍と抽選会を交互に開催します。

③ぐんま独自チラシのセールサイクルを見直し、チラシへの5%引き券添付を中止して店内配布に切り替えます

- 8月31日から「生活適価」の販売を開始しました。コープ商品ではありませんが、低価格帯ブランド商品として品揃えを強化します。



店舗事業の取り組み

業態を超えた取り組み

組合員との取り組みや宅配、共済など業態を超えた取り組みを進めました。

理事さん・ブロック委員さんによる『能登支援』の取り組み



宅配トラック乗車企画・共済アイス試食会



ブロック委員会による店内イベント



■店舗事業の取り組み

商品開発の取り組み

「おいしさ」「健康」「簡便」「即食」「環境配慮」

北関東店舗の
限定販売商品！

お求めやすい
平日限定398円
日替わり弁当の
開発、販売を
開始しました。



平日限定！
日替わり弁当 本体 **398円**
(税込429.84円)

月	チーズ ハンバーグ弁当 肉の旨味が凝縮された特製ソースと とろ〜りチーズの絶妙なハーモニー！	
火	ハムカツ弁当 (宇都宮ハムカツ使用) 外はサクッと、中はジューシー！ 昔ながらの懐かしい味わいをどうぞ。	
水	ごぼうと鶏むね唐 揚げの甘辛和え弁当 ヘルシーなむね唐揚げと 歯ごたえあるごぼうを甘辛ソースで！	
木	いかとにんにくの 芽の甘辛和え弁当 コープの人気中華野菜をおかずにした ご飯が進むお弁当です。	
金	アジフライ弁当 サクッと揚げたポリウム満点のアジフライと 玉子焼きの王道のお弁当！	

実績 (5/13~9/13)
1,509点
1,359点
1,865点
1,695点
3,249点
合計 9,677点

■店舗事業の取り組み

移動店舗の取り組み

停留所数は40停留所で前年から8拠点減少しました。
政策的に利用のない停留所の統廃合をすすめましたが、新たな停留所は増えていません。
客単価アップの取り組みを行い、成果に繋がりました。

	供給高	予算比	前年比	客単価	予算比	前年比
移動店舗	614万円	78.2%	105.3%	1,375円	103.2%	102.9%

コープデリ連合会との連携

北関東3会員生協の執行役員会を開催し、北関東の人材のあり方と現在の商品政策、価格政策に対する地域での到達点を確認しました。会員生協としての課題改善に向けて、連合会店舗事業本部への共有、発信を行いました。

■福祉事業の取り組み

総事業高、経常剰余金

- 総事業高は全体では予算比105.3%、前年比97.7%でした。
居宅介護、通所介護が予算、前年を達成しました。
- 経常剰余金は全体では予算差+256万円、前年差-367万円でした。
居宅介護が予算達成、通所介護は予算、前年を達成しました。

	総事業高	予算比(前年比)	経常剰余金	予算差 (前年差)
全体	9,488万円	105.3% (97.7%)	-1,245万円	+305万円 (-303万円)
居宅介護事業	406万円	108.3% (137.1%)	-328万円	+51万円 (-194万円)
訪問介護事業	2,116万円	95.5% (85.5%)	-212万円	-216万円 (-262万円)
通所介護事業	4,161万円	117.4% (108.7%)	+1,124万円	+552万円 (+137万円)
サービス付き 高齢者住宅	2,804万円	97.5% (90.2%)	-1,829万円	-82万円 (+15万円)

- 下期予算は総事業高9,435万円、経常剰余金-1,591万円を目指します。

福祉事業の取り組み

それぞれの事業所の取り組み

●居宅介護支援

ケアプランデータ連携システムの導入により処遇改善加算を進めて上位加算を取得し、処遇改善につなげました。
下期に採用したケアマネージャーの教育・育成をすすめます。



	利用登録 人数実績	計画比 (差)	一人当たり 単価	計画比 (差)
居宅介護	413名	110.1% (+38名)	9,833円	98.3% (-167円)

●訪問介護

「ケアウィング」による業務効率化は進みましたが、ヘルパーの採用が進まず、新規利用は現状の受け入れ可能な範囲内にとどまりました。
下期に職員を採用したため、段階的に受け入れ人数の拡大を進めます。

	利用登録 人数実績	計画比 (差)	利用回数	計画比 (差)	一人当たり 単価	計画比 (差)
訪問介護	642名	101.4% (+9名)	6,151回	91.6% (-563回)	32,967円	94.2% (-2,033円)

■福祉事業の取り組み

それぞれの事業の取り組み

●通所介護（デイサービス）

1日当たり利用人数平均は27.0人で計画超過できました。
レクリエーションについては「梅ジュース作り」
「ティータイム外出」や「清桜高校太鼓部の慰問」など
利用者も職員も笑顔あふれる企画が実施できました。
下期も楽しい企画を実施します。

梅ジュースづくりの様子



	利用登録 人数実績	計画比(差)	利用回数	計画比（差）	一人当たり 単価	計画比 （差）
通所介護	247名	101.0% (+2名)	4,279回	108.6% (+340回)	168,486円	116.2% (+23,482円)

●サービス付き高齢者向け住宅

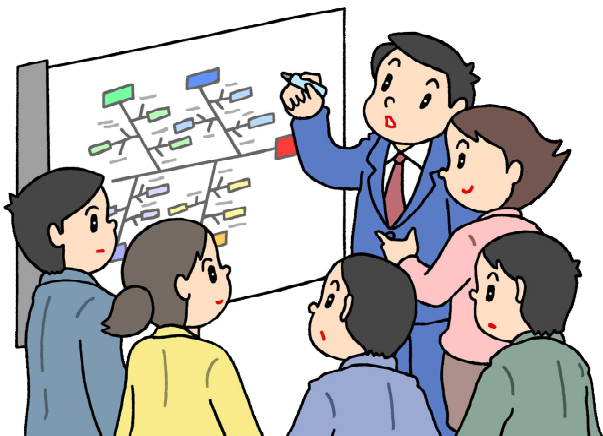
コープデリ宅配利用者様からのお問い合わせと居宅介護事業からの紹介で入居に繋がりました。

下期も入居率95%を維持できるように体制確保に努めます。

	入居人数	計画比（差）	一人当たり 単価	計画比 （差）
サービス付き 高齢者住宅	231名	101.3% (+3名)	121,416円	96.3% (-4,716円)

■福祉事業の取り組み

「生協10の基本ケア」の浸透と運営強化



- 「生協10の基本ケア」の考え方（尊厳を守る、自立を支援、在宅生活を支援）を大切に、安全安心なサービスを提供しました。
- 毎月推進会議を開催し学習と事例共有をすすめました。
- 「尻上げ体操」を継続します。

- 各事業の予算進捗については毎月の管理者会議で確認をすすめ、全事業所が予算達成できるようにアイデアを出し合い達成意欲が高まりました。
- ケアマネージャー1名とサービス提供責任者1名を9月から採用できました。

保障事業の取り組み

共済推進

宅配・店舗業態と協力して積極的な推進活動を行い、店舗は計画達成しましたが、ぐんま全体では計画・前年共に下回りました。

上期共済推進	実績	計画比	前年比
宅配	4,633件	95.7%	98.2%
店舗	935件	105.1%	97.3% (中野店を含めると91.0%)
合計	5,568件	97.1%	98.0%

共済保有件数は、計画を上回って確保できています。

共済保有件数	実績	計画比	前年比
上期件数	131,129件	100.6%	101.9%

上期も多くの組合員のくらしへ保障の分野でお役立ちできました。

共済給付件数	前年比	共済給付金額	前年比
10,969件	103.4%	5億7,692万7,000円	107.0%

●下期も「給付忘れゼロ運動」を継続し、組合員の暮らしへ保障の分野で貢献することを目指します。



■保障事業の取り組み

イベントへの参加



5/24（日）70周年記念コープぐんまフェスタへ共済部として出展しました。

コーすけトランポリンからの共済のお声かけをすすめ、20件の加入につながりました。



4/25（土）「リトルママ・フェスタ」に参加し、22件の加入につながりました。

- 次回の「リトル・ママフェスタ」（11月28日）には、今回参加した教訓を活かし、他生協の事例を学びながら40件を目標に参加します。

■保障事業の取り組み

プロモーション

- 「1歳刻みの年齢別パンフレット」を
実験展開として
宮子店、みさと店に設置しました。

推進会議の中で情報と事例を共有し、
多店舗への導入も検討します。



- 「100か月コープ」の推進にあたり、
店舗・宅配職員へバッジを配り
取り組みを開始しました。

店舗は「100か月コープ店舗共済カウンター
コンテスト」を開催し、来店者の認知向上を
目指します。

宅配は「はじめてばこ」申込者への共済の
アプローチを強化します。



■保障事業の取り組み

プロモーション

- 顧客満足度が2年ぶり9度目の1位を獲得しました。

毎月の推進会議での「声の共有」を行い、組合員に寄り添った対応を行うことで、満足度向上を目指します。



- 全国の組合員さんに支えられて、2026年6月末日時点で、コープ共済加入者数が「1,000万人」へ到達しました。

全国統一「加入者1,000万人感謝キャンペーン」を実施し、たすけあいの輪を広げます。



■組合員活動の取り組み

ブロック委員会の取り組み

○委員の公募により、12名の新任ブロック委員を迎えました。

	東毛 ブロック	西毛 ブロック	中毛 ブロック	北毛 ブロック	合計
2026年 ブロック委員人数	11名	7名	11名	4名	33名

- 2つのブロック委員会が定員に満たない状態です。
ブロック委員の確保を目的に、ブロック委員会の仕組みを再検討しています。

○各ブロック委員会でおすすめ商品を決め、動画を作成して商品の普及を進めました。

おすすめ商品動画は
こちらから▶▶



■組合員活動の取り組み

ブロック委員会の取り組み

○ブロック委員会は組合員の参加を広げる活動を行っています

	東毛 ブロック	西毛 ブロック	中毛 ブロック	北毛 ブロック	合計
2026年企画 のべ参加人数	4企画 56名	7企画 353名	10企画 218名	1企画 10名	22企画 637名

○地域に開かれた交流の場として「スマイルコット」を開催しています。

	東毛 ブロック	西毛 ブロック	中毛 ブロック	北毛 ブロック
2026年 のべ参加人数	30会場 198名	24会場 234名	24会場 130名	4会場 16名



スマイルコットとは…

コープの商品を中心にくらしにかかわる様々な企画を通して定期的に交流する場です。組合員だけでなく未組合員も参加できます。

■組合員活動の取り組み

くらしのたすけあいの会の取り組み

○家事援助活動を中心とした有償ボランティア活動を行っています。

2026年 4月度～9月度	活動回数	活動時間
実績	179回	713.7時間

くらしのたすけあいの会とは…
普段のくらしの中で「組合員
同士で助け合う」という考え方
をもとに、家事援助活動を行う
ボランティア活動です。



2026年で設立30周年を
迎えました！

一緒にボランティア活動を行う
活動会員を募集しています！

■組合員活動の取り組み

収穫体験を通じてのコミュニケーション

○「たべるたいせつ（食育）」の取り組みを進めました。



5月30日(土)
下田農園 田植え体験 24組85名



8月24日(月)
JA孺恋村 キャベツ収穫体験 10組39名



●下期は群馬県畜産協会、カネコ種苗、JA甘楽富岡、JA佐波伊勢崎との取り組みを進めます。

■組合員活動の取り組み

環境保全の取り組み（ネイチャークラブ）



森林
づくり



沼田市の山に
植樹をします。
今年で9回目

森林の整備と
自然観察を
行いました



5月30日(土)春の森林づくり
9組20名

9月5日(土)秋の森林づくり
7組24名

ネイチャークラブは山から海まで環境全体を考える、コープぐんまの組合員が主体の環境の取り組みです。

■組合員活動の取り組み

環境保全の取り組み（ネイチャークラブ）



海に関する
取り組み



6月27日(土)
13組33名が
参加しました



7月11日（土）
13組38名が
参加しました



「ストップ海ゴミ～発生源から考える、 私たちのミッション」

うみごme パートナーファシリテーターの日下竹彦様を講師にお迎えしました。身近に落ちていくごみから見えてくる、私たち社会の「何気ない身勝手な気持ち」を見える化し、海ゴミを生み出している社会の仕組みと自分自身に向き合いました。

「ビーチクリーン&大洗水族館見学」

いばらきコープの組合員と一緒に、茨城県大洗町那珂川河口の海岸清掃をしました。行きのバスではDVDを鑑賞し、地球温暖化による影響などを学習しました。現地では開会式の後海ゴミに関する環境クイズを行い、約1.2kgのゴミを集めました。

●下期では川の学習会やヤマメの放流活動を予定しています。

組合員活動の取り組み

環境保全の取り組み（コープデリのエコ活）



コープデリのエコ活では「アッチアチ大魔王を倒せ！エコ活の冒険」に取り組みました。



伊勢崎市の学童保育で出前講座を開催しました。
2会場で89名が参加しました。

ホームページや様々な媒体を通じて、「てまえどり」や「フードドライブ」をお知らせして、認知度のアップに努めました。



組合員活動の取り組み

平和の取り組み（ピースクラブ）



○小・中学生5名が登録し、様々な取り組みに参加しました。



新聞のつくり方を
学習しました



みなかみ町の
戦跡を取材
しました

広島県の
被爆樹木2世
アオギリを
植樹しました



5月17日(日)第1回

6月21日(日)第2回



取材して感じた
ことをニュース
にまとめました



◀ニュース
はこちら

7月5日(日)第3回



ピースクラブに
参加して感じたこ
とを組合員の前で
発表しました



◀動画は
こちら

8月30日(日)第4回

■組合員活動の取り組み

平和の取り組み（ピースアクションへの参加）

- 「ピースアクション in オキナワ」に中高生4名、
「ピースアクション in ヒロシマ」に小中学生3名が参加しました。



ピースアクションは、日本生協連が主催との取り組みです。
戦争・被爆体験の継承や、世界のさまざまな戦争や紛争、基地問題憲法など、
多角的なテーマで平和を考える取り組みです。
戦跡や記念館・資料館、美術館で学ぶフィールドワークや学習講演会の開催、全国の
生協組合員が集う交流会の開催などの活動が行われています。

- 2027年度ピースアクション in オキナワの取り組みについて検討を開始しました。

■組合員活動の取り組み

子育て支援の取り組み

○子ども食堂「ほぺたん広場」を開催

●2026年度参加人数(9月20日現在)

広瀬	宮子	甘楽	渋川
96名	56名	167名	195名

全会場で
夏まつりを開催
(写真は渋川会場)



○子育てひろば「かんがる〜む」を開催

●2026年度参加人数(9月20日現在)

宮子	みさと
48名	50名



■組合員活動の取り組み

「防災・減災」の取り組み

2026年度は「防災・減災」を年間テーマとして取り組んでいます。



防災キャラクターを作成して
呼びかけをすすめています。



第1回ブロック委員学習会で
長期保存可能食品を利用した
災害に備える健康な食卓づくり
を学びました。

■組合員活動の取り組み

能登半島地震・奥能登豪雨災害への支援

現地の復旧・復興に向けて「どこよりも長く、きめ細かく寄り添って、そして支援から共創へ」をスローガンに支援に取り組んでいます。



理事5名が能登へ行き、
能登の現状を見学しました。



9月5日(土)石川県珠洲市で
サロンを開催し、地元の方と
交流しました。

社会貢献の取り組み

コープぐんまの奨学金制度

高校生を対象とした奨学金制度では初めての卒業生を輩出しました。

2026年度で4年目となり、現在支援する奨学生は82名累計98名になりました。



奨学金制度を支える
「奨学金応援サポーター」は
1,710名になりました。

※2026年8月現在

ご協力
ありがとうございます！



社会貢献の取り組み

募金のご報告

募金名	2026年度 上期募金額
ユニセフ（一般募金）	321,002円
ふくしま復興応援募金	326,749円
平和募金	85,546円
ユニセフ （指定募金・ハッピー ミルクプロジェクト）	149,607円
奨学金応援サポーター募金	4,804,911円
ベネズエラ地震緊急支援募金 （7月6日～8月2日）	4,188,389円
令和8年熊本地震 緊急支援募金 （8月3日～9月13日）	5,204,591円

2026年度上期（2026年3月21日～2026年9月20日）
左記の金額が集まりました。
たくさんのご協力ありがとうございました。

9月7日(月)から10月11日(日)まで
「ネパール土石流緊急支援募金」を呼びかけました。
ご協力いただきありがとうございました。

社会貢献の取り組み

未来つながり助成

○群馬県内で活動をしている13団体へ助成を決定しました。
10月29日(木)に助成金贈呈式・交流会を実施します。

8団体に10万円
1団体に6万円
4団体に5万円
合計106万円を
助成します。

団体名	地区	活動内容
まちの減災ナースぐんま	玉村町	地域の防災・減災体制を強化するための活動。
沼須人形芝居保存会 あけぼの座	沼田市	伝統人形浄瑠璃の継承・公演をしており、幅広い世代への普及と後継者育成を実施。
NPO法人 Link Forest	高崎市	地域住民や子どもたちがスポーツ・文化活動を親しめる環境整備。
まえばし市民ミュージカル	前橋市	公募と練習を経てミュージカル公演を目指す。
NPO法人 のびるっこ	渋川市	行政や保育施設と連携し、子どもと保護者が安心して集える居場所づくり。
群馬 子どもの権利委員会	前橋市	国連「子どもの権利条約」の普及や行政への働きかけ。
たまむら箱推し	玉村町	多世代・他文化交流を促進し、相互理解を深められる地域社会の形成。
あすか会	館林市	月1回の無料炊き出しや、防災教室、茂林寺沼清掃活動など
高次脳機能障害者と家族 と支援者の会 NPO法人 ノーサイド	前橋市	高次脳機能障害者とその家族・支援者を対象とした講演会や相談会。
コミュニティナース ぐんま	前橋市	地域のセーフティネット構築を目指す。
ここてんと	伊勢崎市	子ども食堂の新規開設
渡良瀬川にサケを放す会	館林市	親子での足尾植樹活動や講演会・報告会を開催
そしゃるPot	渋川市	子ども食堂の運営や居場所づくり。



前年度贈呈式の様子



社会貢献の取り組み

団体への支援

○地域で活動する子ども食堂への支援
地域の子ども食堂15団体に食材購入費の支援を行っています。

広く支援をしていくために、定期的に支援先を変更しています。今年度は5団体の支援が満了となり新たに5団体の支援を開始しました。

○はがき・切手回収キャンペーン（2026年1月～5月）
群馬県共同募金会（赤い羽根共同募金）に全額を寄付します。

	封筒数	換金額
実績	2,435通	258万920円



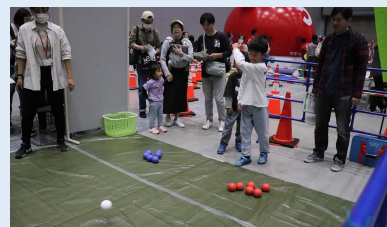
たくさんのご協力をありがとうございました！

換金ボランティア活動は本部職員や組合員にご協力いただいたほか、コープぐんまデイサービス利用者様にもご協力いただいています。

組織全体の取り組み

コープぐんまフェスタ2026開催

5月24日(日)Gメッセ群馬で開催し、約7,000人が楽しみました。



開場前から多くの方に
お越しいただきました。
お取引先や県内団体な
ど88ブースが出展し、試
食や販売を通して来場者
と交流を深めました。



ステージイベントでは子
どもに人気のせきあっし
さんによるパフォーマンス、
広報誌『プチほっと』で連
載中の「ちょこっと体操」
の実演を行いました。



70周年記念の取り組みとして、来場者先着2000人に
70周年ロゴマークの入ったクッキーを配りました。
また記念イベントとしてFM群馬 朝の顔でおなじみ
のラジオパーソナリティー内藤聡さんをお呼びして、
トークライブを行いました。コープぐんま70周年の
歴史やお取引先のご紹介、クイズ大会を行いました。



70周年ブースでは、あゆ
みの紹介や、コープぐん
まへのメッセージを集め
ました。また70周年記念
ミールキットを紹介しま
した。

■組織全体の取り組み

通常総代会

第1議案～第4議案ともに賛成多数で可決されました。

	2026年度
実出席	209名 (53.2%)
書面 代理出席	175名 (44.5%)
出席率	97.7%



ブロック別総代会議

グループ討議では活発な意見交換が行われ、582件（前年比197.3%）のご意見・ご質問・ご要望が出され、全てにお答えしました。

5月ブロック別総代会議参加状況

会場数	参加人数 (定数)	参加率	前年比 (差)
22会場	260名 (393名)	66.2%	103.6% (+9)

■組織全体の取り組み

行政との関係構築



包括連携協定の締結

前橋市との締結を始まりとして
「包括連携協定」の締結をすすめています。

6月23日(火)沼田市

- 太田市、渋川市、藤岡市と
締結に向けて協議しています。



行政訪問

役員が首長を訪問し、意見交換をしています。

■組織全体の取り組み

働きやすい職場づくり

- 新たな企画への参加・媒体活用を広げることで新卒者の採用・期中採用を強化して人材確保をすすめました。



	新卒採用	期中採用
採用実績	入職承諾者3名 (前年度5名)	19名 (前年度14名)

- 健康経営宣言
職員が心身ともに健康でやりがいをもって働くことが「組織の活性化」「生産性の向上」に不可欠なものであるとの考えから、2024年度・2025年度に取得した「健康経営優良法人制度」の継続認定を目指していきます。



■組織全体の取り組み

コープデリグループ 人権方針

コープデリグループ全体で人権方針を定めました。

コープデリグループの組合員と全ての働く仲間がともに掲げる方針として適用します。

●人権デューディリジェンス（※）に取り組めます

※私たちの事業がもたらす人権リスクの特定や評価、防止・軽減策のこと

●重点的に取り組んでいくのは以下の課題です

- ・消費者の安全と知る権利
- ・プライバシーの権利
- ・過剰、不当な労働時間の是正
- ・差別の禁止
- ・安全で健康的な作業環境の確保
- ・ハラスメントの防止



■組織全体の取り組み



コープぐんまは2026年に創立70周年を迎えました

■ ネックストラップ作成 ■ 職員向けプレゼント ■ 店舗70周年セール



■ FMぐんまでの告知



■ スポンサーマッチ



<コープぐんま70周年特設サイト> イベントについて詳しくはこちら▶



組織全体の取り組み

コープぐんまは2026年に創立70周年を迎えました

■トラックへの貼付け



■企業とのコラボ商品



■記念植樹



■プレゼント企画



■スポーツ少年団への協賛



<コープぐんま70周年特設サイト> イベントについて詳しくはこちら▶



■コープデリグループ全体の重点課題

コープデリグループのブランド 再構築の検討を始めました（ブランド価値の再構築に向けた取り組み）

- ①これまでの現ブランドの振り返りを進めていきます。
- ②ブランドの認知・到達点や、今後伸ばすべき価値、ロゴやキャラクターの認知・印象についての消費者調査や検討を進めていきます。
- ③今後目指す方向性について取りまとめていきます。